Think & Act against "Corona" ～ブライダル業界は"コロナ"にどう向き合うか？～

バブル崩壊後に似てくる可能性

これまでのニーズがリセットされ新業態含め新たな動きが出てくる

全日本ブライダルMCアライアンス
会長
恋塚 太世葉氏

―今回のコロナ禍で、これからさきどのようになっていくとお考えですか？

恋塚　状況は1991年のバブル崩壊後に似てくると感じています。バブル後はそれまでとは一気に変わり、地味婚が増えました。新郎新婦の親世代に余裕があり、その蓄えに頼ることができた人は通常のウェディングができましたが、それ以外は年収ダウンなどの影響もあり地味婚になり、お食事を軸としたレストランウェディングや、大切な人だけを限定して招待するゲスハウスなど、新しい業態も生まれました。そしてバブル崩壊で倹約社会で育つ世代を生み、それがミレニアル世代へと繋がっていきます。

―そうですね。早くも通常の給与カット、失業増に加えて、ボーナスのカットなどを打ち出している一般企業も出てきましたね。

恋塚　地味婚になったことで低予算、少人数など業界にとっては厳しい状況になってきましたが、今回のコロナ後はこうした動きも出てくると思います大企業や公務員などは従来の収入が確保されるでしょうからこれまで通りの結婚式になると思いますが、中小企業やサービス業では、収入ダウンから倹約生活が強まり、地味婚で、密を避け更に少人数婚になっていく傾向が強まるのではと見ています。バブル期のあととの違いは、親からの援助が期待できないことで、より厳しい状況になっていくのではないかと考えています。

―そうですね、年収ダウンという意味では非常に似ていますが、親世代の余力という意味ではだいぶ状況が違っていると思います。

恋塚　大企業や公務員といった収入ダウンがない層と、中小やサービス業の収入がダウンするような企業との間で結婚式にも更なる格差が生じると思います。そして地味婚でも、低予算、少人数に加え、パーティよりも食事会やリゾート挙式などを選ぶという方が増えていくのではないでしょうか。バブルの後は海外ウェディングも伸びていきましたが、海外の情勢が不安定なことと、アジア人バッシングがコロナによりあったために危険だという見方もありますので、国内リゾート中心の動きになると思います。

―コロナ禍により大人数が集まることが難しくなると、業界にとっては厳しい状況になりますが、写真だけ、少人数のリゾートなどは早い時期から盛り返すかもしれませんね。

恋塚　そうですね、こうした層をどう取り込んでいくか考えていく必要があります。バブル崩壊後をこの業界がどう乗り切ったのか、その経験の中には、ヒントも多く眠っていると思います。バブル後のようにニーズはリセットされ、新業態も生まれるでしょうし、リゾート婚に関連して色々な場所で挙げてみたいという場所にこだわらない結婚式も増えると思っています。

恋塚氏は昨年、本も出すなど様々な活動を行っている

積極採用する婚礼企業を支援

状況が流動化する中で応援企画として採用広告を無料開放

TIPLOG CAREER
代表取締役
高津 守氏

6か月限定で提供

ウェディング業界で頑張る人の応援サイト「wetuku」と、ウェディング業界専門転職支援サービス「TIPLOG CAREER」では、ブライダル経験者から2020卒学生などを積極的に採用する企業に対し、「コロナに打勝つ戦略的採用支援」を4月1日より6か月間行っている。

この取り組みは、TIPLOG CAREER（東京大田区、高津守社長）が、新型コロナウイルス感染拡大による景気変動の影響を受け、ブライダル事業従事者の「雇用解雇」や「内定取り消し」の被害にあったブライダル事業従事者及び、ブライダル業界に興味のある学生など、転職・就職活動をサポートする為、ウェディング業界で頑張る人の応援サイト「wetuku」と、ブライダル業界専門転職支援サービス「TIPLOG CAREER」にて、「コロナに打勝つ戦略的採用支援」を6か月間実施するというもの。

自社独自サービスである採用広告サービスの無料開放を通して、強い意志で事業促進を行うブライダル企業の雇用情報の発信の場として、ポジティブなブライダル企業の応援企画し、状況により掲載数はかわるものの、複数社の掲載を行っている。

掲載の条件は事業促進のための人員採用をポジティブに行っているブライダル企業（法人企業様のみ）であること、また、同社が指定する法令を遵守した求人フォーマットへの入力と採用広告に利用するための写真データの提供に協力できる企業とのこと。

将来に渡る人材採用に

応援キャンペーン申込方法は、ウェディング業界で頑張る人の応援サイト「wetuku」お問合せページより申込可能。問合せ内容 https://wedding-tuku.com/inquiries に、以下3点を記入し問い合わせをする。①6か月無料掲載についての問い合わせであること②企業名と屋号③窓口部署名とご担当者名と連絡先メールアドレスと電話番号。

「コロナ禍により厳しい環境に追い込まれている企業もいる中で、こういう時でも元気に事業を継続していくために人材採用を行う企業を少しでも支援したいと思いスタートしました。これまでは人手不足が言われてきましたが、一挙に状況が変わってきました。人材の雇用が難しくなる企業も出てきていますが、こういう時こそ辞めてもらうにしてもその先に対してどういうことができるかが、将来に渡っての人材採用においては重要になってきているターンだと思います。ご相談も多くいただきますが、これからのビジネスに置いてどういう人材を確保しておくか考えておかないといけないと思います」と語るTIPLOG CAREERの高津守社長。

採用広告サービスを無料開放
写真は掲載イメージ